

台風2号の接近に伴う修学旅行中の対応について

1 状況

- 6月2日（金）、六郷中学校及び蓮沼中学校の第3学年修学旅行の帰路において、台風2号接近に伴う影響で新幹線が運休し、運転再開に関する目途が立たないまま、京都駅の新幹線内で長時間の待機を余儀なくされた。
- 運転再開が翌日の午後となったことに伴い、六郷中は京都市内、蓮沼中は奈良市内のホテルを確保し延泊した。
- 6月3日（土）19時過ぎに東京到着となった。
- 両校ともに、3年生については6月5日（月）を振替休業日とした。

2 主な対応経過

(1) 生徒への食事等の提供

- 6月2日については、JRの許可が下り、17時半過ぎに六郷中学校は8名の教職員が、蓮沼中学校では5名の教職員が、駅付近のコンビニエンスストアなどで、おにぎりやパン等の軽食や茶、飲料水を購入し、食物アレルギーに配慮の上、生徒に配布した。
- 6月3日については、同様の軽食を朝昼に、購入及び配布した。

(2) 宿泊先の確保

両校が旅行会社を通じて空き部屋のあるホテルを確保した。六郷中学校は、164名の生徒が京都市内5つのホテルに分散しての宿泊、蓮沼中学校は、95名の生徒が奈良市内1つのホテルに宿泊となった。

(3) 各校との連携

6月2日18時過ぎに指導課が両校の校長に架電し、生徒の健康状況等の確認や、両校が連携し合って対応することなどを助言した。また、6月3日19時過ぎの解散まで、継続的に連絡を取り合った。同時に、学校にいる両校の副校長とも連絡を取り合い、保護者周知への助言を行った。

(4) 費用負担

保険が適用できなかった場合は、区で負担する方向性を学校に伝え、安心して対応できるようにした。

3 今後の対応

- 生徒の延泊等にかかった費用については、新幹線運休保険等により対応する。教職員等は出張費等で対応する。今後、宿泊を伴う行事については、保険内容を事前に確認し、万が一に備えるようにしておく。
- 長時間移動する際には、不測の事態に対応できるよう、十分な水分や非常食等を準備しておくことや、新幹線の運休が決まった時点で、旅行会社を通じて、延泊する場合の宿泊地を確保すること、保険の内容を事前によく検討・確認しておくことを、校長会等で周知していく。
- 生徒の心身の変化等に留意し、必要なケアができるよう、当面の間、学校に状況を確認し、連携していく。